



難を避ける

あなたの判断が命を守る

近年、大規模な被害を伴う風水害が各地で発生しています。また、新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、多くの方が集まる避難施設での感染症予防対策が課題となっています。災害発生時に、自分の命を守るのは自分です。いざというときの情報収集・状況判断・避難方法の選択など、慌てることなく対応できるよう平常時の準備と災害時の冷静な判断が大切です。

問 防災課 ☎ 724・2107

風水害に備え まず、知っておこう！



避難とは「難」を「避」けることです。安全な場所にいる人が避難施設に行く必要はありません。



避難施設以外にも、安全な場所に住んでいる親戚や知人宅に避難することも有効です。



Question

あなたのとるべき避難行動は？

ハザードマップ(洪水・土砂災害)で自宅の場所を確認

土砂災害ハザードマップは土砂災害の危険がある市内の区域、洪水ハザードマップは浸水被害の発生が予測される区域が示されています。お住まいの近くの危険箇所や、いざというときの避難経路を確認しておきましょう。ハザードマップは防災課(市庁舎3階)や各市民センターで配布しているほか、町田市ホームページでご覧いただけます。



自宅の場所に色が塗られて…

いない

いる

自宅の倒壊や崩落の恐れなどはあるか

はい

安全な場所に住んでいる、親戚や知人の元に身を寄せられるか

いいえ

はい

いいえ

自宅にとどまる(在宅避難)

マップに色がなくても、災害が起きることがあります。身の危険を感じたら躊躇なく自発的に避難しましょう。

安全な場所に住んでいる親戚や知人宅に避難

普段から相談しておきましょう。

避難施設に避難

感染症対策を行いましょう。

避難するときの留意点

- ▶ 移動に時間がかかる高齢者や幼児や子どもなどがいる場合は、雨が強くなる前に避難するなど、早めの行動が大事
- ▶ 避難先までの移動経路や移動にかかる時間等を平常時に確認しておく、いざというとき慌てない
- ▶ 避難の際、高齢者や障がい者・病気やけがをしている方等へご協力を

